

〇 7 全 事 研 第 1 号
令和 7 年 4 月 1 日

各 都 道 府 県 教 育 委 員 会 教 育 長 様
全 国 市 区 町 村 教 育 委 員 会 教 育 長 様
全 国 公 立 小 ・ 中 ・ 義 務 教 育 ・ 中 等 教 育 ・ 特 別 支 援 学 校 長 様
教 育 関 係 者 様

全 国 公 立 小 中 学 校 事 務 職 員 研 究 会
会 長 前 田 雄 仁
第 57 回 全 国 公 立 小 中 学 校 事 務 研 究 大 会
実 行 委 員 長 倉 辻 弘 美

第 57 回 全 国 公 立 小 中 学 校 事 務 研 究 大 会 (滋 賀 大 会) の 開 催 に つ い て (依 頼)

陽春の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会の研究活動に対しまして、御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、第 57 回 全 国 公 立 小 中 学 校 事 務 研 究 大 会 を 開 催 要 項 の と お り、滋賀県大津市において開催することになりました。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りのあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

学校事務のミッションー子どもの豊かな育ちを支援するー

第 57 回全国公立小中学校学校事務研究大会（滋賀大会）

開 催 要 項

- 1 大会テーマ 「学びの環境を創造する学校事務」
さんぼう
 ー三方よして 学校まると ウェルビーイングー
- 2 目 的 情報化が加速し、人々の価値観が絶えず変化する時代を迎え、これからの社会の創り手となる子どもには、自ら課題を解決し幸福な未来を切り拓いていくための学びが一層求められている。この学びの実現に向けた環境を整備するには、学校が既存の仕組みや資源活用の在り方を見直し、教職員のみならず地域コミュニティを形成する様々な主体と学びの場を協創していく必要がある。本大会では、質の高い学びを保証する学校の事務機能を明らかにするとともに、総務・財務等の専門性を発揮した実践により学びの環境の創造に資する事務職員・共同学校事務室の姿を追究する。
- 3 主 催 全国公立小中学校学校事務職員研究会
- 4 共 催 近畿公立小中学校学校事務職員研究会
- 5 主 管 全国公立小中学校学校事務職員研究会滋賀支部
滋賀県公立小中学校学校事務研究協議会
- 6 後 援 文部科学省 全国都道府県教育長協議会 滋賀県 滋賀県教育委員会
京都府教育委員会 京都市教育委員会 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会
兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 奈良県教育委員会 和歌山県教育委員会
大津市 大津市教育委員会 指定都市教育委員会協議会 全国市町村教育委員会連合会
全国都市教育長協議会 全国町村教育長会 滋賀県町村教育委員会連絡協議会
滋賀県都市教育委員会連絡協議会 滋賀県町村教育長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 滋賀県小学校長会 滋賀県中学校長会
滋賀県小中学校教頭会 滋賀県小学校教育研究会 滋賀県中学校教育研究会
一般社団法人滋賀県教育会
公益社団法人日本PTA全国協議会 滋賀県PTA連絡協議会 大津市PTA連合会
公益財団法人日本教育公務員弘済会 公益財団法人日本教育公務員弘済会滋賀支部
一般財団法人教職員生涯福祉財団 教職員共済生活協同組合
教職員共済生活協同組合京滋事業所
- 7 期 日 令和7年7月31日（木）～ 8月1日（金）
※現地参集およびオンライン参加によるハイブリッド開催（録画配信予定）
- 8 日 程

	9:30	10:00	11:00	12:00	12:30	14:00	16:45
7月31日（木） （1日目）	受付	開 会 式	オリエン テーション	文部科学省 行政説明	活動 報告	昼食	全体研究会Ⅰ

	9:00	9:30	12:30	14:10	14:50	15:05	16:30	16:45
8月1日（金） （2日目）	受付	分科会 （支部提案討議・ 本部討議）	昼食 移動	全体研究会Ⅱ・まとめの会			閉会式 引継式	
				分科会報告	休憩	シンポジウム		
- 9 参 加 者 公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校事務職員
 その他学校事務担当職員 教育委員会事務局職員及び教育関係者等

10 研究テーマ及び会場

【1日目】

全体会	会場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール 大津市打出浜 15-1 TEL 077-523-7133 定員 1,700 名(参集：1,400 名 オンライン：300 名)
-----	---

【2日目】 ※現時点では、各分科会テーマは確定していない支部もあります。

本部研究分科会 (全事研本部)	テーマ 学びの環境を創造する学校事務 -未来の創り手をはぐくむ財務マネジメント- 会場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール 大津市打出浜 15-1 TEL 077-523-7133 定員 500 名(参集：200 名 オンライン：300 名)
第1分科会 (滋賀支部)	テーマ 事務職員のマネジメント力を活かした校務運営へのかかわり -古湖(ここ)からはじめる 子どもも大人も笑顔輝く SHIGA(Well)-being- 会場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 中ホール 大津市打出浜 15-1 TEL 077-523-7133 定員 200 名
第2分科会 (大阪(小)支部)	テーマ 学校のカリキュラム・マネジメントを支える大阪の共同学校事務室 会場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール 大津市打出浜 15-1 TEL 077-523-7133 定員 180 名
第3分科会 (兵庫支部)	テーマ ∞ -「できない」を「できる」に変える学校事務職員- 会場 コラボしが21 大会議室 大津市打出浜 2-1 TEL 077-511-1400 定員 160 名
第4分科会 (和歌山支部)	テーマ Re:「きのくに和歌山プラン」 -きのくにに学校事務プラクティスシート(KGP)の活用- 会場 大津市民会館 小ホール 大津市島の関 14-1 TEL 077-525-1234 定員 150 名
第5分科会 (大阪(中)支部)	テーマ 「組織を通して考える学校教育と学校事務」 -やったるで!!子どもたちの笑顔と未来のために- 会場 ピアザ淡海 ピアザホール 大津市におの浜1丁目 1-20 TEL 077-527-3315 定員 200 名
第6分科会 (奈良支部)	テーマ 子どもたちの学びにつなげる環境づくり -「ささえる・つなぐ・ひらく」で実践!!- 会場 ピアザ淡海 大会議室 大津市におの浜1丁目 1-20 TEL 077-527-3315 定員 180 名
第7分科会 (京都支部)	テーマ みんなで創ろう!京の学び舎 -子どもの豊かな育ちを支える環境整備- 会場 大津市勤労福祉センター 大ホール 大津市打出浜 1-6 TEL 077-522-7474 定員 130 名

全体会	会場 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール 大津市打出浜 15-1 TEL 077-523-7133 定員 1,700 名(参集：1,400 名 オンライン：300 名)
-----	---

11 文部科学省行政説明

(文部科学省)

12 全体研究会Ⅰ

(全事研本部)

13 全体研究会Ⅱ・まとめの会

(全事研本部)

14 大会参加費 5,000 円

第57回全国公立小中学校事務研究大会（滋賀大会）

研究概要

Ⅰ 大会テーマとそのねらい

年次別課題「学びの環境整備」 大会テーマ「学びの環境整備を創造する学校事務」

第10次研究中期計画では、学校が抱える課題を年次別課題として設定し、その解決に向かう学校・学校事務の在り方を考えるとともに、教育行政職員としての専門性を発揮して校務運営に参画し、学校のマネジメントを推進していく事務職員の姿を追究します。2年次に当たる今大会では、「学びの環境整備」を年次別課題とし、より良い学校づくりの具現化に向けた理論研究・実践研究等を通して、ミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する」学校事務を追究し、教育の質やその効果を高めることを目指します。

学習環境を整備することの重要性については、これまでも多く語られてきました。子どもが授業の内容を理解するために有効な教材が存在していること、静かで落ち着いた空間であること、すべての子どもが同じ活動を同じようにできる設備が整っていることなど、指導者である教師が望む空間づくりに重きが置かれていた傾向があります。しかし今、理想とされる学習の形は大きく変化しています。学習者がそれぞれの興味や特性に応じた形で主体的に学ぶことが重要視され、「個別最適な学び」という言葉に象徴されるように、指導する教師には、画一的な教育ではなく、学習者の主体的・探求的な学びを支援する伴走者としての役割が求められるようになりました。それに伴い、学びの環境についても学習者の学びに適した形に整備していくことが望まれています。

環境という言葉がもつ意味は非常に広く、人によって思い描くものが異なります。場所や空間、そこに存在する物体も環境であり、その地域に存在する文化や歴史、伝統など、目には見えないものも環境と言えます。環境の変化が人に与える影響は大きく、留学した子どもが、言語だけでなくライフスタイルや価値観までも現地の特色に染まるということはよくある話です。逆の言い方をすれば、環境を意図的に整備することで、その環境にいる人の考え方や価値観を変えることもできるということです。それ故、環境が学びに与える影響は非常に大きいと考えられます。

さて、社会全体のデジタル化やグローバル化は一層加速しています。さまざまな分野でDX（デジタルトランスフォーメーション）化が推進され、人が一生のうちにふれる情報量は膨大なものになっています。日常を不自由なく過ごすためだけにさえ、10年前とは比べものにならないほどの情報処理能力が必要です。また、生成AIも日常に定着し、単純業務はAIが担い、創造的業務は人が担うとされていたAIと人の関係性に対する認識も、ひと昔前のものになろうとしています。AI自身が学習し、社会を豊かにする創造的業務を担うとき、人は一体どのような営みを行うことで、個人あるいは社会全体のウェルビーイングの実現を図るのでしょうか。私たちには、その営みについて考え、そこに求められる資質・能力等を身に付けるための学びの環境について追究する必要があります。

事務職員は誰しも、日常の業務において、学びの環境を整備するための経営資源にかかわっています。教材を購入したり、施設・設備を整えたりするための予算や、授業や登下校、その他さまざまな機会において子どもの学びを支援して下さる地域の人々、学校に入ってくる様々な情報など、事務職員の周りには、学びの環境整備を行うための資源が数多くあります。事務職員にとって学びの環境整備とは、本会のミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する」営みとして、最も直接的な支援と言えるかもしれません。事務職員の誰もがリソース・マネジメントをすることができる環境にいるからこそ、私たちがイニシアティブをとって学びの環境整備を行うことは、全国の子どもの豊かな学びへとつながります。そして、さらに事務職員の専門性を生かすことで、より質の高い学びの環境を創造することができると考えます。

- (1) 未来の創り手をはぐくむ学びの環境
- (2) 学びの環境を創造する事務職員

学びの環境整備を通して、未来の創り手をはぐくみ、ウェルビーイングを実現する事務職員の機能や役割を追究します。碧く広がる琵琶湖のほとりて熱い討議を交わし、未来を創る子どもの学びの環境を創造する事務職員の姿を描きましょう。

2 全体研究会Ⅰ（１日目） 本部研究提案

全体研究会Ⅰでは、全事研本部の研究の方向性を示す場として、本部研究の提案を行います。このことにより、テーマと課題の共有が可能となり、分科会討議が更に深まるものと考えます。

テーマ「学びの環境を創造する学校事務」

Society5.0 に向かって社会の仕組みや人々の生活様式が変化し続けるなか、次代を担う子ども一人一人が自ら課題と向き合い、未来の創り手としての力を身に付けていけるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められています。そのために、学校は教育から学びへの質的転換を図り、多様な背景や価値観をもつ主体とともに子どもの可能性を引き出す環境を創り上げる必要があります。この環境とは、校舎や教室といった学びの空間だけでなく、教材や教具、教育活動にかかわる人々、地域に根付く文化などをも総合したものを意味しており、学びの環境を構成する様々な要素を最大限に活用したり、不足するものを補ったりすることで、子どもの学びの質を高めることができると考えます。

本研究では、事務職員の専門領域である学校財務の在り方を今一度見直し、ファシリティ・マネジメントの側面から、学びの環境整備について追究します。事務職員が多様な主体と合意形成を図り、協働しながら理想の学びの環境を創り上げていくために備えるべき予算委員会の機能や、外部資金の獲得等を通じた事務職員によるマネジメント空間の拡張について提案し、地域とともにある学校の学びの環境を創造する事務職員の役割や力量形成について追究します。

3 分科会テーマと概要（２日目 午前）

大会２日目の午前は分科会を行います。第１０次研究中期計画２年次の大会テーマ「学びの環境を創造する学校事務」の下、それぞれに特色ある研究発表と活気に満ちた討議が展開されます。

□本部研究分科会

１日目の全体研究会Ⅰでの提案に基づいた研究討議を行い、研究の更なる深まりを目指します。

□第１～７分科会

本大会では、滋賀支部、京都支部、大阪（小）支部、大阪（中）支部、兵庫支部、奈良支部、和歌山支部の協力を得て、分科会を開催します。

各分科会では、それぞれの支部で積み上げられた研究に基づく提案と、それを基にした研究協議が行われます。工夫を凝らした分科会運営によって、参加者が今後の実践につながるヒントを見出せるのではないかと期待しています。

4 全体研究会Ⅱ・まとめの会（２日目 午後）

全体研究会Ⅱでは、初めに各分科会での討議内容や今後の研究課題等について分科会担当者より報告を行います。その後、１日目の内容や各分科会での討議を踏まえ、シンポジウムを行います。

□分科会報告

本部研究を含めた各分科会担当者より、提案及び討議内容について報告をいただきます。

□シンポジウムテーマ 「ウェルビーイングを実現する地域とともにある学校の学びの環境整備」

第１０次研究中期計画の２年次の年次別課題である「学びの環境整備」の観点から、事務職員が次世代の学校をマネジメントし、子どもの豊かな育ちを支援するために担う役割について追究します。３名のシンポジストの御発言から、子どものウェルビーイングを実現する学びの環境を明らかにし、その実現のためにマネジメント力を駆使し、地域や行政機関と協働しながら制度や仕組みをも変えていく事務職員の在り方について探求する機会とします。

第1分科会 滋賀支部

事務職員のマネジメント力を活かした校務運営へのかかわり
-古湖からはじめる 子どもも大人も笑顔輝く SHIGA(Well)-being-

1 研究テーマ設定の理由

滋賀県が目指す学校事務職員像の一つに「学校運営体制の強化に向けてマネジメント力を有し、主体的に行動できる事務職員」が掲げられています。子どもたちの学び・成長のためにマネジメント力を生かした実践や行動をすることが求められており、その先にある学校にかかわるすべての人たちのウェルビーイングな姿や、SHIGAの理想の未来を思い描き、このテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

令和5年2月に県内事務職員へ実施した意識調査アンケートを考察した結果、意識を変え、学びを深め、主体的に行動に移していくことが事務職員の校務運営への参画につながると考えました。実践事例や学びの環境整備のイメージを共有し、グループセッションを通して、参加者の学びの環境整備のイメージを“創り”上げていきたいと思っています。

3 分科会運営の形態

全体への提案後、助言者による講義、参加者全員によるグループセッション

4 分科会討議の柱

(1) 事務職員に求められる様々な領域を“つなぐ”役割や資質・能力について

(2) 子どもも大人も笑顔輝く環境づくりについて

5 参加者へのお願い

皆様とともに学び、事務職員の可能性を深める場にしたいと思っています。「学んだ」ではなく「明日からの実践につなげる」分科会を目指しますので、熱い思いの共有をお願いします。

第2分科会 大阪(小)支部

学校のカリキュラム・マネジメントを支える
大阪の共同学校事務室

1 研究テーマ設定の理由

大阪の共同学校事務室は、自治体によってさまざまな経緯があり、それぞれ目的や形態、取組の期間が異なっています。2019年に行った学校事務職員の職務に関するアンケートでは、学校事務職員の専門性発揮意識と財務とのかかわりが明らかになりました。そのため、大阪の共同学校事務室を考える際には、特に財務を通じたカリキュラム・マネジメントとのかかわりの中で研究を深めることにしました。

2 提案発表の骨子

大阪の学校事務のグランドデザインを基に、学校のカリキュラム・マネジメントの推進を支える大阪の共同学校事務室を提案します。共同学校事務室の展開を阻む要因を標準化や業務負担の軽減、人材育成が不十分であることと考え、どのように阻害要因を克服し、学校におけるカリキュラム・マネジメントを促進していくかを考えました。また、カリキュラム・マネジメントを推進するため、マネジメント領域を四つに分けて検討し、さらに大阪の学校事務職員が大切にしてきた「就学保障」の観点を交えながら考察します。

3 分科会運営の形態

研究部報告とグループ交流を行います。

4 分科会討議の柱

大阪の共同学校事務室の提案を踏まえ、学校や自治体が直面する現状や課題について共有し、課題解決に向けてどのように貢献できるかを、参加者の皆さんと考えたいと思います。

第3分科会 兵庫支部



- 「できない」を「できる」に変える学校事務職員-



1 研究テーマ設定の理由

子どもの貧困による教育格差など学校をとりまく課題が長きにわたり存在している一方で、ある調査では、今の大人の姿を見て「自分が思い描く将来」について不安を感じている中高生が多くいることも分かっています。「明るい希望のある未来」を子どもたちが想像できるよう、学校事務職員として、枠にとらわれず新たな目線で、課題解決に向けて、楽しみながら仕事に取り組んでいきたいと考えて本テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

第4期教育振興基本計画に示された「ウェルビーイングの向上」の実現に向けて、学校事務職員として何ができるかを考え、学校だけでなく社会全体の課題でもある「子どもの貧困」と「子どものよりどころ（学校×家庭×地域社会）」にスポットをあてた実践報告を行います。実現に近づける「組織」、「仕組み」の確立のために必要な「制度」の重要性について考えていきます。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる実践報告・提案発表を行い、助言者や参加者を交えて意見交流を行います。

4 分科会討議の柱

- (1) 「ウェルビーイングの向上」の実現に向けて（「保護者負担軽減」「地域連携」等）
- (2) 学校事務職員に求められる役割について
- (3) 学校における課題解決に必要な「組織」、「仕組み」と「制度」について

5 参加者へのお願い

一緒に「子ども」たちのために何ができるかを考え、積極的なご参加をお願いします。

第4分科会 和歌山支部

Re：「きのくに和歌山プラン」

-きのくに学校事務プラクティスシート（KGP）の活用-



1 研究テーマ設定の理由

和歌山県では「子どものすこやかな成長を保障する学校事務」をテーマに掲げ、学校事務職員の能力向上を目指しています。多角的な視点から自分たちの取組を見つめなおし、和歌山県小中学校事務研究協議会の研究指針「きのくに和歌山プラン」をリフレーミングし、新たな価値観を作り出すために本テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

第49回全国公立小中学校事務研究大会（京都大会）で提案した「きのくに和歌山プラン」のその後の取組について、過去の実践のなかから一部を報告させていただきます。また学校運営を支えるチーム学校の一員として、思考を深め課題を明確化し、解決に向けて作成した「きのくに学校事務プラクティスシート（KGP）」について提案いたします。

3 分科会運営の形態

ワークショップ

4 分科会討議の柱

- (1) 「チーム学校」の一員として学校事務職員に求められる役割について
- (2) KGPを活用し、「学びの環境を創造する学校事務職員」について

5 参加者へのお願い

「きのくに学校事務プラクティスシート（KGP）」を体験していただきます。積極的な意見交流をお願いします。

第5分科会 大阪(中)支部

「組織を通して考える学校教育と学校事務」

- やったるで!! 子どもたちの笑顔と未来のために -



1 研究テーマ設定の理由

今般、将来の予測が困難なVUCAと言われる時代において、たくましく未来を生きる子どもたちを育成するための学校教育が必要とされるなか、本市では「大阪市教育振興基本計画」の下、学校教育目標の達成に向けた特色ある取組が各校で推進されています。そのなかで「学びを支える教育環境の充実」は喫緊の課題であり、学校事務職員においても、先見性や柔軟性等をもち、より主体的かつ積極的に学校経営へ参画することが求められています。令和5年度から全市実施された「共同学校事務室」により、今まで以上に人材育成や事務の標準化等の取組を進めるとともに、学校事務職員が「組織」として学校経営に参画し、学校のマネジメント機能の強化を図ることが、更なる教育環境の充実につながると考え、本テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

共同学校事務室における取組事例を基に、これから求められる学校事務職員の役割や学校事務の在り方等について、提案発表を行います。

3 分科会運営の形態

提案発表 参加者同士の意見交換 講師講評

4 分科会討議の柱

- (1) 学校事務職員の「組織」における人材育成について
- (2) これからの学校事務職員の役割と学校事務の在り方について

5 参加者へのお願い

当日、参加者の意見集約等を行います。二次元コードの読み取りが可能な機器のご準備をお願いします。

第6分科会 奈良支部

子どもたちの学びにつながる環境づくり

- 「ささえる・つなぐ・ひらく」で実践!! -



1 研究テーマ設定の理由

奈良県グランドデザイン「すまいる奈良2」の3つの領域である「ささえる・つなぐ・ひらく」の視点から学校の課題を捉え、リーダーシップを発揮し、学校運営に参画していくことにより、子どもたちの学びの環境整備を担えるのではないかと考え、テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

学びの環境整備をテーマに事務職員の視点から捉えた学校の様々な課題から「システム化・財務・学校把握」に着目し実践を行い、得た成果や課題について探求を続けています。事務職員が学校運営に積極的に参画することで、教育活動の質の向上をもたらすことができる可能性を示します。皆様と一緒に事務職員の役割について深めたいと考えています。

3 分科会運営の形態

レクチャーディスカッション（講演式討論）

4 分科会討議の柱

- (1) 実践事例の取組について
- (2) 学校事務職員の役割について

5 参加者へのお願い

提案を受けて思われたこと、より改善できる手立て等について語り合い、皆様が行っている実践についてもお話を頂きたいです。



1 研究テーマ設定の理由

私たち事務職員は、これまでも財務をつかさどる職として学校の環境整備を担ってきました。今後より一層、教職員や地域、保護者、教育委員会等、学校にかかわる“みんな”を巻き込み、子どもの豊かな育ちを支える環境を創っていきたい。その方策を、分科会参加者の“みんな”と共に考えたいという思いをテーマに込めました。

2 提案発表の骨子

京都市立学校事務研究会が主体となって取り組んできた「学校事務標準化プロジェクト（令和3年度～）」の具体的な取組や成果・課題について報告します。公金業務に焦点を当て、予算編成や施設整備、物品管理等の実践例を交えて、助言者の先生に御示唆をいただきながら学校全体で取り組む効果的な財務マネジメントの在り方について提案します。

3 分科会運営の形態

分科会の後半は、一人一人が主体的に考えるワークショップを実施します。学校の課題解決や在るべき姿の実現に向けて、できることや必要なことを全国の皆さんと共に考えて言語化し、参加者一人一人の力を高め、“みんな”の明日からの実践につながる楽しいワークショップを目指します。

4 分科会討議の柱

「みんなで創ろう！豊かな学び舎 一人一人が輝く学校づくりを目指して」

5 参加者へのお願い

参加者皆さんが主役です！“みんな”で考えることで、学校をもっと素敵な学びの場にしていきましょう！

全事研からのお知らせとお願い

○ 総会について

全国研究大会に先立ち、次のとおり総会を開催いたします。関係者の方々は定刻までに御出席ください。

【期 日】 令和7年7月30日（水） 受付 12時00分 開会 12時20分

【会 場】 コラボ滋賀21 大会議室

〒520-0806 大津市打出浜 2-1 TEL 077-511-1400

交通機関、道路のご案内

JR 琵琶湖線（JR 東海道本線）「大津」駅よりバス約7分、または徒歩約20分

○JR 大津駅→バス→商工会議所前

〔湖岸線 のりば2番〕

近江鉄道バス（近江大橋経由 草津駅西口行）

バス停：商工会議所前下車 所要時間約7分

JR 琵琶湖線（JR 東海道本線）「膳所」駅より徒歩約15分

京阪電鉄「石場」駅より徒歩約 3分



○ 全事研加入の御案内

全事研は、学校事務の研究・研修の場です。未加入の方（団体）は、手続きをお願いします。

◎ 全事研加入に関する問い合わせ先

全国公立小中学校学校事務職員研究会 事務局長 平野さつき
 所属校 福井県坂井市立丸岡南中学校
 所在地 〒910-0355 福井県坂井市丸岡町高瀬15-2
 TEL 0776-67-7722 FAX 0776-67-7122

実行委員会からのお知らせとお願い

■ 参加申込みについて

本大会は、Web によるお申込み（大会参加・弁当・宿泊）を原則とさせていただきます。
なお、大会参加申込みは定員に達した時点で受付を終了いたします。

※ 弁当・宿泊の申込みは、(株)日本旅行 草津支店 との旅行契約となります。

大会 Web ページ <https://va.apollon.nta.co.jp/zenjiken-shiga2025/>



参加分科会・宿泊は申込み受付順ですが、Web 申込みを優先させていただきます。
 (FAX による申込みの場合は、別途事務手数料 300 円が必要です。また、受付期間終了日以降に FAX 受付の処理を行いますので、その時点で御希望の分科会の申込みが定員数に達している場合には、本部研究分科会に参加とさせていただきます。あらかじめ御了承ください。)

- 1 受付期間 令和7年5月12日(月) ～ 令和7年6月20日(金)
 「ご予約確認書(二次元コード付)」を必ずご持参ください。(印刷またはデータ)
 「弁当引換券」は必ず片面印刷して御持参ください。
 (申込みの手順及び発券期間は、14 ページを御確認ください。)
- 2 大会参加の取消し(弁当・宿泊の変更等は 3 を参照してください。)
参加費支払後は、理由の如何にかかわらず、大会参加取消し及び参加費の返金はできません。
後日、研究集録を送付いたします。(送料着払い)
- 3 弁当・宿泊の変更等
 - ① Web で申込まれた方は、受付期間中は Web で、受付期間を過ぎた場合は E-mail 又は FAX で手続きをしてください。電話による変更・取消しは受付いたしません。
 - ② 変更・取消しにて生じた差額は、大会終了後に取消料・振込手数料を差し引いて返金いたします。
 - ③ 変更・取消し手続きを E-mail 又は FAX で行う際、返金先の振込口座を記入してください。但し、クレジットカード支払いの方は、クレジットカードへの返金となりますので、振込口座の記載は不要です。

<取消料>

取消日	7 日前まで	6 日～ 2 日前まで	前日	当日
弁当	無料	無料	100%	100%
宿泊	無料	30%	40%	50%

※当日の無連絡の取消及び不泊は 100%となります。

4 参加費等の送金

クレジットカード支払、コンビニ支払又は銀行振込にてお支払いください。

※ コンビニ決済手数料（コンビニ支払）・振込手数料（銀行振込）は各自で御負担願います。

【 クレジットカード支払 】 支払方法は、Web の案内を御覧ください。

【 コンビニ支払 】 ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・セイコーマート・デイリーヤマザキでお支払いが可能です。各店舗でのお支払い手順については、Web 申込み画面で御確認ください。
※ 選択いただいたコンビニエンスストア以外での払込みはできません。
※ 表示されたお支払期日までにお支払いください。

【 銀行振込 】 Web 申込みの際、お一人様ずつ振込口座を指定されますので、そちらの口座を御利用ください。

5 その他

① 車椅子で参加される方は、大会申込みの際にお知らせください。詳細は、E-mail 又は FAX にて御連絡させていただきます。

② 申込みに当たっての個人情報については、本大会のみに利用させていただきます。

■ 録画配信について

大会参加申込者に向けて、大会日程の当日の様子を学びの振り返りとして録画配信を行う予定です。録画配信開始期間、終了期間については後日お知らせさせていただきます。

■ 研究集録の引換え

- 1 大会期間中、びわ湖ホール受付で「ご予約確認書」の二次元コードを提示して「研究集録」と引き換えます。申込みの際に、研究集録受取場所を「2 日目分科会会場」とされた方については、2 日目の分科会会場の受付でお渡しします。
- 2 オンライン参加の方は大会前 7 月 23 日頃から大会 Web ページに掲載します。冊子の配付はいたしませんので各自でダウンロードをお願いします。
- 3 当日参加できなくなった場合は、当日参加される方に「ご予約確認書」を預けていただき、代理受領をお願いします。受け取りがない場合は、大会後、勤務先に発送します。(送料着払い)

■ 昼食（弁当）について

1 日目及び 2 日目の弁当を 1 食 1,000 円（税込み・お茶なし）で斡旋します。参加申込みの際に注文をしてください。弁当引換えは引換券に記載されている所定の場所で大会 1 日目は 13:30 まで、大会 2 日目は 13:45 まで行います。必ず弁当引換券を片面印刷して御持参ください。

※ びわ湖ホール施設内での飲食はできません。所定の昼食会場にて昼食をお取りください。

※ 弁当の申込みは、(株)日本旅行 草津支店との旅行契約になります。

■ 交通・駐車場について

全体会会場・各分科会会場に駐車場はございません。公共交通機関を御利用ください。

(JR 大津駅～びわ湖ホール 徒歩約 20 分)

■ 宿泊について

本大会では、参加申込みの際に宿泊等の受付を行います。詳しくは 14 ページの Web による申込み方法を御覧ください。

- 1 宿泊施設一覧は 16 ページを参照してください。1 泊朝食付きの料金（税・サービス料込み）が基本です。
- 2 FAX で申込まれた場合、御希望のホテルが満員になった場合は、ほかのホテルへの配宿を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。
- 3 チェックイン・チェックアウト時間は各ホテルにより異なりますので、各自で御確認ください。
※ 宿泊の申込みは、(株)日本旅行 草津支店 との旅行契約になります。

■ 領収書について

- 1 大会参加費の請求書・領収書については、大会当日に配布される研究集録最終ページに綴じ込んでありますので、御確認ください。
- 2 宿泊費・弁当代の領収書の発券を希望される場合は、入金後8月31日（日）までの間に、申込みサイトより、「株式会社 日本旅行」名義の領収書の出力が可能です。ただし、コンビニ支払いを選択した場合には、サイトからの領収書は発行できませんので、御注意ください。

■ 環境配慮について

本大会は環境に配慮して運営いたしますので、クールビズで御参加ください。また斡旋したお弁当以外のゴミは各自でお持ち帰りください。

■ 録音等について

文部科学省行政説明の録音、録画、写真保存及び無断転載等を行わないようお願いいたします。

■ クロークの利用について

各会場に基本的にクロークは用意しておりませんので、あらかじめ御了承ください。

■ 感染症対策について

マスクの着用については個人の判断にお任せいたします。

■ 天変地異等により開催中止となった場合について

台風・地震など災害が起こった際の中止等については、大会 Web ページにて御連絡いたします。

■ 問い合わせ

➤ 大会全般に関すること

第 57 回全国公立小中学校事務研究大会（滋賀大会）実行委員会 事務局長 奥野八千代
E-mail hinosho-shoku@rmc.ne.jp
※ お問い合わせは E-mail にてお願いします。

➤ 参加申込・弁当・宿泊に関すること

株式会社日本旅行 草津支店 担当 佐々木・吉川
〒525-0032 滋賀県草津市大路 1-10-1 JR草津駅前
TEL 077-563-2001(代) FAX 077-562-5613
E-mail zenjiken_2025@nta.co.jp
営業時間 9:30～17:30（土日祝日は休業）
※ FAX・E-mail でのお問い合わせは、御連絡までにお時間をいただく場合があります。

大会期間中の連絡先については、本大会 Web ページにて御案内いたします。全体会会場や分科会会場へ直接問い合わせをされないようお願いいたします。

オンライン参加の方へ

- 参加申込みについて、現地参加の方と同じシステムによりお申込みください。
(申込みの手順は、17 ページを御確認ください。)
- オンラインの参加申込みは、個人での御登録をお願いします。
- YouTube によるライブ配信（限定公開）での視聴参加となります。
分科会の配信は本部分科会のみです。後日、申込み時の登録アドレスに視聴用の URL を送付します。(令和7年7月中旬以降予定)
- オンライン参加時の諸連絡は、ID 及びパスコードを送付する際にお知らせします。
- 研究集録および資料等は、大会前7月23日頃から大会 Web ページに掲載します。
冊子等の郵送はいたしませんので各自でダウンロードをお願いします。
- 各日程のオンライン運営方法と参加定員は以下のとおりです。

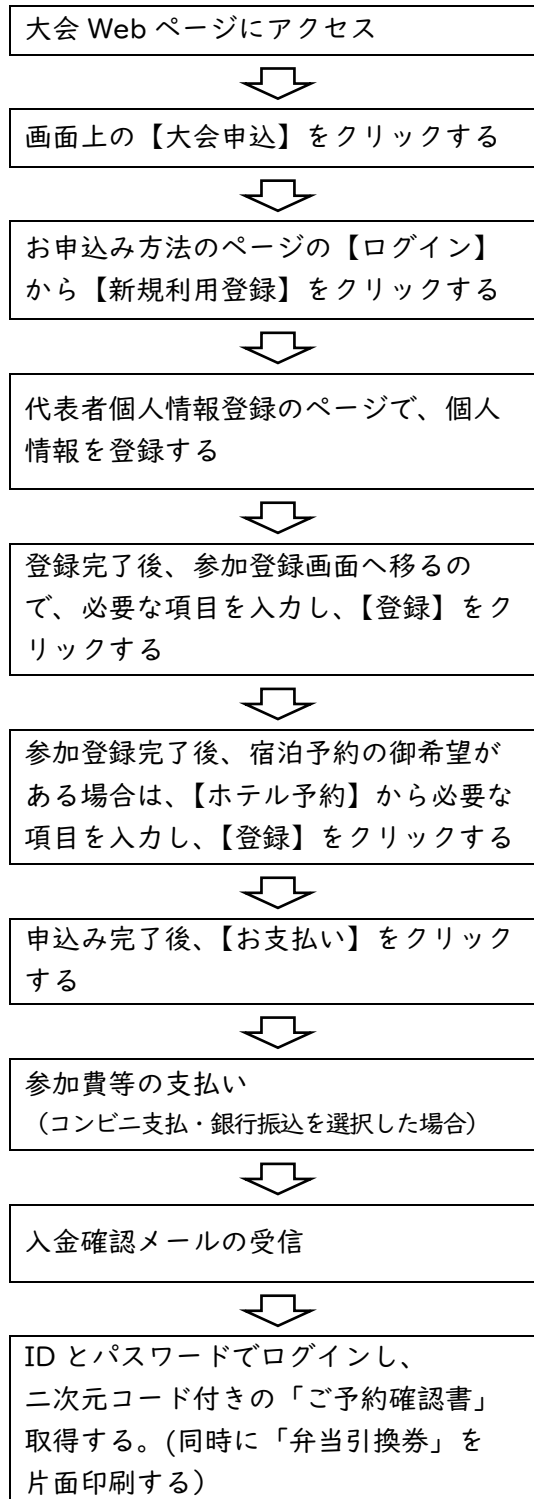
7月31日（木）			
日 程		運営方法	オンライン 参加定員
開会式		ライブ配信	300 名
オリエンテーション			
文部科学省行政説明			
活動報告			
全体研究会Ⅰ			
8月1日（金）			
日 程		運営方法	オンライン 参加定員
分科会	本部研究分科会	ライブ配信	300 名
全体研究会Ⅱ・まとめの会		ライブ配信	300 名
閉会式・引継式			

*ライブ配信 . . . 一方向でのライブ視聴のみ(予定)

- 大会当日は、YouTube に関する使用方法・接続方法等、参加者個々の接続環境及び技術的な問題についての対応はできかねますので、御了承ください。

大会参加申込み方法

□ Web による申込み方法（大会参加・弁当・宿泊）



<https://va.apollon.nta.co.jp/zenjiken-shiga2025/>

ここから、(株)日本旅行 草津支店 の本大会専用ページに移動します。

個人情報の取扱いについて承認後、代表者個人情報登録画面へ進みます。

代表者個人情報を登録してください。(E-mail アドレスが必要です。)御登録いただいたメールアドレス、パスワードによりログイン後、御予約が可能となります。

大会参加・分科会・弁当の申込みができます。御同行者の申込みは「利用者をリストに追加する」で個人情報を登録後、お一人様ずつ登録をお願いします。

※ 定数の関係で御希望に添えない場合もございますが、御了承ください。

宿泊の申込みができます。御同行者の申込みは「利用者をリストに追加する」で個人情報を登録後、お一人様ずつ登録をお願いします。禁煙室、喫煙室は御希望で承ります。予約者連絡欄に御入力ください。

支払方法は、クレジットカード支払、コンビニ支払又は銀行振込（手数料各自負担）を選択してください。

振込期限までにお支払いください。

入金後、ページ上より領収書を取得することが可能です。コンビニ支払いを選択した場合には、サイトからの領収書は発行されません。

ログイン後「予約確認・変更」をクリックしてお進みください。「ご予約確認書はこちらより」から項目を選択して進んでいくと、ご予約確認書・弁当引換券（弁当注文者のみ）がPDFで表示されます。片面印刷をして、当日御持参いただき、係員に御提出ください。

※ ログイン情報メモ

登録メールアドレス	
パスワード	

□FAX による申込み方法（大会参加・弁当・宿泊）

※ Web 申込みができない環境にある場合のみ

※ オンライン参加は FAX での参加申込みはできません。

18 ページの FAX 専用参加申込書に
必要事項を記入し、送信する



(株)日本旅行 草津支店より、請求書
が FAX 返信されるので、内容を確認す
る



参加費等の支払い



受付期間終了後に「ご予約確認書」・
「弁当引換券」(弁当注文者のみ)等の
送付

別途事務手数料 300 円が必要です。

※ 御希望のホテルが満員の場合はほかのホテルへ変更してい
たことがあります。あらかじめ御了承ください。

振込期限までにお支払いください。

領収書の発行を希望された場合は、「ご予約確認書」等と同時
に郵送されます。

「ご予約確認書」・「弁当引換券」(弁当注文者のみ)は、大会当日に御
持参ください。

滋賀大会 全体会・分科会の会場一覧

場所	会場名・所在地・電話番号	使用目的
①	滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール・中ホール・小ホール 大津市打出浜 15-1 TEL 077-523-7133	全体会 本部研究分科会 第1分科会 第2分科会 まとめの会
②	コラボ滋賀 21 大会議室 大津市打出浜 2-1 TEL 077-511-1400	第3分科会
③	大津市民会館 小ホール 大津市島の関 14-1 TEL 077-525-1234	第4分科会
④	ピアザ淡海 ピアザホール・大会議室 大津市におの浜 1-1-20 TEL 077-527-3315	第5分科会 第6分科会
⑤	大津市勤労福祉センター 大ホール 大津市打出浜 1-6 TEL 077-522-7474	第7分科会



○ 宿泊の御案内

7月30日(水)、31日(木)の1泊朝食付き(税サービス料込み)の料金です。

※ 朝食不要の場合も同料金です。

申込 記号	施設名	部屋 タイプ	宿泊料金 (朝食付)	JR最寄駅からの アクセス
A	びわ湖大津プリンスホテル	ツイン・ シングルユース	21,000 円	シャトルバス10分 (大津駅)
B	ホテルブルーレーク大津	シングル	6,500 円	徒歩1分(浜大津駅)
C	ホテルテトラ大津・京都	シングル	12,000 円	徒歩1分(大津駅)
D	ホテル・アルファワン大津	シングル	8,000 円	徒歩9分(大津駅)
E	東横INN 京都琵琶湖大津	シングル	7,500 円	徒歩10分(大津駅)
F	スマイルホテル大津瀬田	シングル	8,000 円	徒歩1分(瀬田駅)
G	アーバンホテル草津	シングル	9,000 円	徒歩1分(草津駅)
H	ポストプラザ草津びわ湖	シングル	10,000 円	徒歩1分(草津駅)
I	アーバンホテル南草津	シングル	8,500 円	徒歩0分(草津駅)
J	東横INN 琵琶湖線南草津駅西口	シングル	7,500 円	徒歩3分(南草津駅)
K	ラックホテル草津	シングル	8,000 円	徒歩18分(草津駅)
L	草津第一ホテル	シングル	8,500 円	徒歩12分(草津駅)
M	アトリッツホテル	シングル	11,500 円	徒歩4分(栗東駅)
N	ホテルルートイン草津栗東 -栗東インター国道1号-	シングル	9,000 円	車3分(栗東駅)
O	ベッセルイン滋賀守山駅前	シングル	8,500 円	徒歩1分(守山駅)

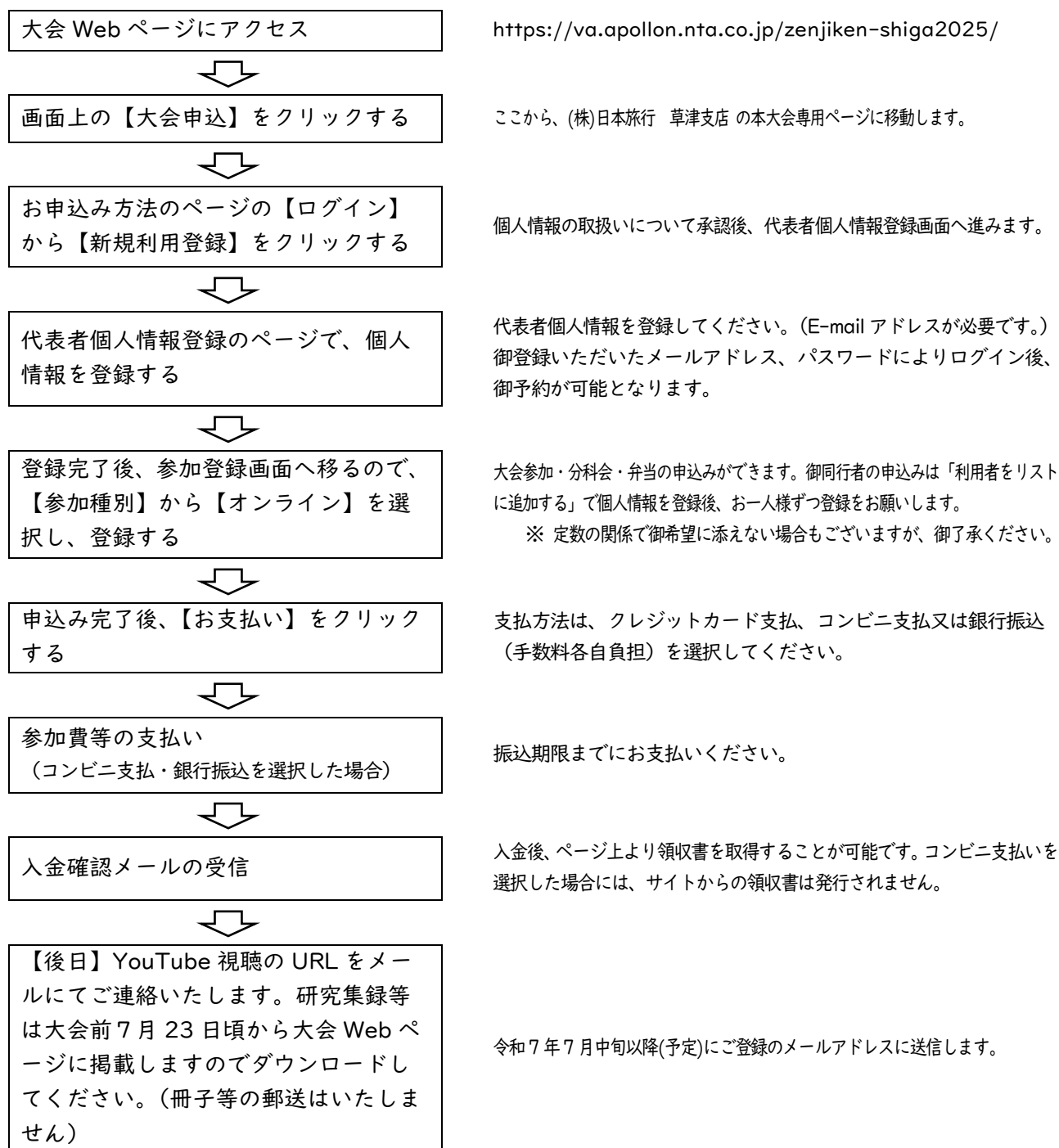
※詳細はWEBで確認ください。

※ FAXでのお申込みの際は、必ず申込記号を明記してください。申込み順での御案内となりますのでお早めにお申込みください。なお、部屋数に限りがあり、御希望に添えない場合もありますので、あらかじめ御了承願います。



大会参加申込み方法(オンライン参加の方)

□ Web による申込み方法 (大会オンライン参加)



※ ログイン情報メモ

登録メールアドレス	
パスワード	

※ Web 申込みできない環境にある場合のみ、FAX による申込みを受け付けます。(別途 300 円の手数料が必要になります。)
オンライン参加は、Web 申込みのみとさせていただきますので、FAX での参加申込みはできません。

「第57回全国公立小中学校事務研究大会（滋賀大会）」FAX専用参加申込書

宛先：(株)日本旅行 草津支店 担当 佐々木・吉川 行き

FAX：(077-562-5613)

(TEL：077-563-2001(代) E-mail：zenjiken_2025@nta.co.jp)

下記に必要事項を御記入いただき、FAXにてお送りください。

※ 申込締切日：令和7年6月20日（金）

申込日 令和7年 月 日

学校名 (所属先)				所属先 都道府県名			
職名		フリガナ					
		氏名					
経験年数		☐ 1～10年 ☐ 11～20年 ☐ 21年以上					
連絡先	所属住所 (所在地)	〒 -					
	TEL (所属)	FAX (所属)		携帯 (任意)			
	E-mail @						
参加期間		☐ 2日間 ☐ 1日目(7/31)のみ ☐ 2日目(8/1)のみ					
参加希望分科会		☐ 本部研究分科会 ☐ 第1分科会 ☐ 第2分科会 ☐ 第3分科会 ☐ 第4分科会 ☐ 第5分科会 ☐ 第6分科会 ☐ 第7分科会 ※分科会スタッフの方は✓を入れてください。 ☐ 分科会スタッフ ※ 希望分科会が定員を上回った場合、本部研究分科会へ参加いただくこととなります。					
研究集録受取場所		☐ びわ湖ホール(1日目) ☐ 2日目分科会会場 ☐ びわ湖ホール(2日目午後)					
宿泊	7月30日(水)		7月31日(木)		※幹旋宿泊施設を希望しない方へ お手数ですが、補助金申請のため、7/31(木)の宿泊について、ご回答ください。 7月31日(木)の宿泊先 ☐ 滋賀県内の宿泊施設を利用する そのうち、 ☐ 大津市内の宿泊施設を利用する ☐ 滋賀県外の宿泊施設を利用する ☐ 宿泊施設は使用しない(友人宅や実家など、宿泊に経費の支出を伴わない宿泊を含む) ※ご協力ありがとうございました。		
	☐ 希望する		☐ 希望する				
	第1希望 記号		第1希望 記号				
	第2希望 記号		第2希望 記号				
弁当	7月31日(木) ☐ 希望する		8月1日(金) ☐ 希望する		※弁当引渡場所は、弁当引換券にてご確認ください。		
連絡事項		☐ 領収書発行を希望 ☐ 車椅子を使用 ☐ その他 ()					

【お客様の個人情報の取扱いについて】

- ① 当社では、お客様から御提供いただきました個人情報を厳重に管理し、申込みいただきました宿泊の手配、チケットの発送、お客様との連絡及び大会主催者への提供並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- ② その他、当社の個人情報の取扱いにつきましては当社ホームページ (<https://www.nta.co.jp>) を御参照ください。
- ③ 個人情報の取扱いに関する問い合わせ先 (株)日本旅行 草津支店 (担当：佐々木・吉川) TEL：077-563-2001(代)



 **全国公立小中学校事務職員研究会**
URL : <https://zenjiken.jp> E-mail : info@zenjiken.jp